

患者の皆様へ

2022年12月27日

呼吸器内科

現在、呼吸器内科では、間質性肺炎合併非小細胞肺癌に対する化学療法に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では（2022年12月までに当院でカルボプラチン+パクリタキセル療法又はカルボプラチン+nab-パクリタキセル（アブラキサン）療法で1次治療が行われ、かつ同一レジメンによるリチャレンジ治療が実施された間質性肺炎合併非小細胞肺癌の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「間質性肺炎合併非小細胞肺癌に対するカルボプラチン+パクリタキセル/nab-パクリタキセル リチャレンジの有効性の検討」

2. 研究の意義・目的

「間質性肺炎合併非小細胞肺癌の患者さんに対する薬物療法は、薬剤性肺障害のリスクから治療選択肢が非常に限られております。本研究では、このような患者さんに対してカルボプラチン+パクリタキセル療法もしくはカルボプラチン+nab-パクリタキセル療法のリチャレンジの有効性を解析することで、同治療の妥当性を検討する事を目的としております。」

3. 研究の方法

「診療録に記載されている年齢、性別、喫煙歴、ECOG-PS、病歴、肺癌の組織型および病期、身体所見、血液検査所見、呼吸機能検査所見、画像検査所見、化学療法の経過（治療効果や有害事象とその重症度などを含む）などの情報を収集し、治療効果について解析する。」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学研究室の鍵のかかる保管庫

で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究は千葉大学医学部附属病院および同関連施設である船橋市立医療センターの診療情報を収集し、千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学医局にて保管や解析を実施する。収集した情報については氏名や患者 ID などの患者個人を特定できる個人情報には削除し、各研究対象者に対して施設毎の研究用番号を付して管理を行う。各施設においては、研究用番号個人識別情報の対応表を作成する。個人を特定できない状態に加工した情報を、電子ファイルの状態を提供する。

6. 研究組織

千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科

鈴木拓児、伊藤拓、齋藤合、齋藤幹人

千葉大学医学部附属病院 呼吸器外科

吉野一郎

千葉大学医学部附属病院 腫瘍内科

滝口裕一

船橋市立医療センター 呼吸器内科

中村祐之

船橋医療センター 腫瘍内科

平野聡

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院呼吸器内科

医師 伊藤拓

043 (222) 7171

研究代表機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器内科

研究代表者 : 鈴木拓児

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています